

平成 26 年 2 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 25 年 7 月 10 日

上場会社名 株式会社柿安本店 上場取引所 大
 コード番号 2294 URL <http://www.kakiyasuhonten.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 赤塚 保正
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 赤塚 義弘 (TEL) 0594 (23) 5500
 四半期報告書提出予定日 平成 25 年 7 月 10 日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 26 年 2 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 25 年 3 月 1 日～平成 25 年 5 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26 年 2 月期第 1 四半期	9,850	△1.3	495	△11.3	497	△11.1	259	△10.6
25 年 2 月期第 1 四半期	9,983	3.2	558	30.2	559	30.0	290	928.4

(注) 包括利益 26 年 2 月期第 1 四半期 272 百万円 (△0.5%) 25 年 2 月期第 1 四半期 273 百万円 (2,130.6%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26 年 2 月期第 1 四半期	20.86	—
25 年 2 月期第 1 四半期	23.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26 年 2 月期第 1 四半期	18,464	12,970	70.2
25 年 2 月期	18,047	13,133	72.8

(参考) 自己資本 26 年 2 月期第 1 四半期 12,970 百万円 25 年 2 月期 13,133 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25 年 2 月期	—	0.00	—	35.00	35.00
26 年 2 月期	—	—	—	—	—
26 年 2 月期(予想)	—	0.00	—	40.00	40.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

3. 平成 26 年 2 月期の連結業績予想 (平成 25 年 3 月 1 日～平成 26 年 2 月 28 日)

(%表示は、通期は対前期、第 2 四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第 2 四半期(累計)	20,899	1.0	1,186	1.0	1,187	0.2	644	4.5	51.75
通期	43,679	2.3	2,840	8.5	2,845	6.3	1,593	21.7	128.03

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

※. 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有・無
新規 一社 (社名) , 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有・無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無

② ①以外の会計方針の変更 : 有・無

③ 会計上の見積りの変更 : 有・無

④ 修正再表示 : 有・無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年2月期1Q	12,446,700株	25年2月期	12,446,700株
② 期末自己株式数	26年2月期1Q	438株	25年2月期	361株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年2月期1Q	12,446,339株	25年2月期1Q	12,446,367株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明, その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による経済・金融政策への期待感から、円高の是正や株価上昇など景況感に改善の兆しが見られたものの、海外経済の減速が懸念されるなど先行き不透明な状況で推移いたしました。

食関連業界におきましても、消費者の雇用・所得環境に顕著な改善が見られない中、急激な円安や政策に伴う物価上昇も予想されるなど、個人消費の改善には至らず依然として厳しいものとなりました。

このような環境の中、当社グループは、新商品の開発と売上構成上位の主力定番商品をさらにおいしく磨き上げることによる商品の魅力向上に努めてまいりました。

出退店につきましては、「口福堂」の拡大を加速させ、関東・中部・関西の既出店エリアを中心に9店を出店し、ドミナント強化を図るとともに主要百貨店への精肉・惣菜店舗の出店も着実に進め、計12店を出店し2店を閉鎖いたしました。

また、東武百貨店宇都宮店内の3店(精肉1店、惣菜2店)の全面改装を行いました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は9,850,530千円(前年同期比1.3%減)、営業利益は495,381千円(同11.3%減)、経常利益は497,873千円(同11.1%減)、四半期純利益は259,705千円(同10.6%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(a) 精肉事業

主力定番商品の黒毛和牛小間切れを『黒毛和牛こだわり小間切れ』に全面刷新を行うとともに、黒毛和牛とあぐ〜豚による冷しゃぶ向け食べ比べセットやよりどりセールの実施により、商品力強化を図りました。

また、そごう大宮精肉店を出店しました。

この結果、当事業の売上高は3,450,905千円(前年同期比0.6%減)、セグメント利益は256,704千円(同14.1%増)となりました。

(b) 惣菜事業

「もっとおいしく」をキャッチフレーズに店内厨房での切り立てにより、風味を向上させた『切り立てロースハムのマカロニサラダ』や『松阪牛入り黒酢肉だんご』をはじめサラダ類、弁当類、パック商品群の定番商品の刷新とともに『春爛漫お花見弁当』、『初夏の彩り弁当』など季節ごとの新商品投入により商品の強化を図りました。

また、東急百貨店東横店への柿安牛めし店舗及び松坂屋名古屋店への柿安ダイニング店舗出店により、主要百貨店への展開を進めました。

この結果、当事業の売上高は3,025,526千円(前年同期比2.9%減)、セグメント利益は261,557千円(同40.6%減)となりました。

(c) 食品事業

伝統のしぐれ煮の製造技術を活かし、一方でこれまでにない新たな食の提案として素麺や冷製パスタにソース感覚で使って頂ける「冷やしトマト牛肉しぐれ煮」などの開発を進めるとともに、中元向け戦略商品としての先行試食販売を実施しました。

また、母の日などの個々のパーソナルギフト需要へ専用商品、特別パッケージ商品の投入による強化を行って参りました。

この結果、当事業の売上高は405,368千円(前年同期比4.4%減)、セグメント損失は23,939千円(前年同期は40,004千円のセグメント損失)となりました。

(d) 和菓子事業

ひなまつりや花見、端午の節句など3月から5月の大きな和菓子の需要に対して、新商品投入を積極的に行うとともに「料亭本店 本わらび餅」増量セールや「どら焼」3個セット販売により、定番商品の拡販を図りました。

また、ゴールデンウィーク明けからは水まんじゅうに甘夏味、いちごミルク味を加え3色展開に拡充するとともに、水ようかん、冷やしカップデザート類など涼菓への大幅な商品入替により夏の季節への早期の切り替えを行いました。

この結果、当事業の売上高は1,320,974千円(前年同期比15.6%増)、セグメント利益は142,073千円(同39.5%増)となりました。

(e) レストラン事業

「柿安」部門(しゃぶしゃぶ、和食部門)への『あぐ〜』豚のしゃぶしゃぶコースやグリル部門への『13品目の野菜たっぷり照り焼きハンバーグ』、気温上昇に合わせての『焼きカレーハンバーグ』などの投入と併せビュッフェ部門では、一部店舗において店内焼きたてパンの導入を行いメニュー強化に努めました。

この結果、当事業の売上高は1,639,616千円(前年同期比9.5%減)、セグメント利益は150,187千円(同24.6%増)となりました。

(f) その他

柿安グループの店舗を設けていない百貨店・量販店等において、柿安総合催事を実施いたしました。

この結果、その他の売上高は8,138千円(前年同期比57.6%減)、セグメント損失は1,030千円(前年同期は2,454千円のセグメント利益)となりました。

(2) 連結財務状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ416,947千円増加し、18,464,382千円となりました。

主な要因は、現金及び預金335,795千円の減少がありましたが、売掛金258,945千円及び仕掛品202,458千円並びに新規出店等に伴う有形固定資産121,153千円の増加によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ580,496千円増加し、5,494,168千円となりました。主な要因は、未払法人税等108,430千円の減少がありましたが、買掛金247,499千円及び賞与引当金190,037千円並びに未払金117,929千円の増加によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ163,548千円減少し、12,970,213千円となりました。主な要因は、利益剰余金175,916千円の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成25年4月11日に発表いたしました「平成25年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載しております予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,174,370	6,838,574
受取手形及び売掛金	2,400,573	2,659,519
商品及び製品	208,484	288,190
仕掛品	122,794	325,253
原材料及び貯蔵品	181,365	191,627
繰延税金資産	204,392	291,061
その他	40,788	30,689
貸倒引当金	△219	△256
流動資産合計	10,332,550	10,624,659
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,203,231	3,279,307
土地	2,282,565	2,282,565
その他(純額)	620,210	665,288
有形固定資産合計	6,106,007	6,227,161
無形固定資産		
その他	118,024	105,718
無形固定資産合計	118,024	105,718
投資その他の資産		
投資有価証券	188,194	208,152
繰延税金資産	274,718	260,990
差入保証金	838,271	854,441
その他	189,668	183,258
投資その他の資産合計	1,490,852	1,506,843
固定資産合計	7,714,884	7,839,723
資産合計	18,047,434	18,464,382
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,151,762	1,399,261
未払金	395,259	513,189
未払法人税等	428,745	320,314
未払費用	877,336	989,045
賞与引当金	361,018	551,055
役員賞与引当金	37,950	9,480
その他	382,506	490,302
流動負債合計	3,634,578	4,272,649
固定負債		
長期借入金	702,500	660,000

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
退職給付引当金	13,048	15,663
資産除去債務	465,736	448,748
その他	97,807	97,106
固定負債合計	1,279,093	1,221,519
負債合計	4,913,672	5,494,168
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,269,238	1,269,238
資本剰余金	1,074,763	1,074,763
利益剰余金	10,793,104	10,617,187
自己株式	△401	△506
株主資本合計	13,136,704	12,960,683
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,941	9,530
その他の包括利益累計額合計	△2,941	9,530
純資産合計	13,133,762	12,970,213
負債純資産合計	18,047,434	18,464,382

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
売上高	9,983,049	9,850,530
売上原価	5,373,858	5,207,974
売上総利益	4,609,191	4,642,556
販売費及び一般管理費	4,050,578	4,147,174
営業利益	558,612	495,381
営業外収益		
受取利息	1,097	804
協賛金収入	1,153	609
その他	5,981	6,261
営業外収益合計	8,231	7,674
営業外費用		
支払利息	4,137	3,210
その他	2,954	1,972
営業外費用合計	7,091	5,182
経常利益	559,751	497,873
特別損失		
固定資産除売却損	15,590	1,106
減損損失	5,003	—
その他	270	—
特別損失合計	20,864	1,106
税金等調整前四半期純利益	538,887	496,766
法人税、住民税及び事業税	229,300	316,800
法人税等調整額	19,208	△79,738
法人税等合計	248,508	237,061
少数株主損益調整前四半期純利益	290,379	259,705
四半期純利益	290,379	259,705

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	290,379	259,705
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,793	12,471
その他の包括利益合計	△16,793	12,471
四半期包括利益	273,585	272,177
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	273,585	272,177
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	精肉事業	惣菜事業	食品事業	和菓子 事業	レストラン 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	3,470,155	3,114,364	424,197	1,142,776	1,812,368	9,963,862	19,187	9,983,049	—	9,983,049
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	286,243	3,806	74,942	32,067	4,038	401,097	—	401,097	△401,097	—
計	3,756,398	3,118,171	499,140	1,174,844	1,816,406	10,364,960	19,187	10,384,147	△401,097	9,983,049
セグメント利益 又は損失(△)	224,908	440,448	△40,004	101,814	120,583	847,749	2,454	850,203	△291,591	558,612

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、全社催事等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△291,591千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△303,573千円及びその他調整額11,982千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「惣菜事業」セグメントにおいて、店舗資産(3店舗)の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては5,003千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成25年3月1日至平成25年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	精肉事業	惣菜事業	食品事業	和菓子 事業	レストラン 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	3,450,905	3,025,526	405,368	1,320,974	1,639,616	9,842,391	8,138	9,850,530	—	9,850,530
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	344,123	2,058	79,339	25,554	4,451	455,527	—	455,527	△455,527	—
計	3,795,028	3,027,585	484,708	1,346,528	1,644,067	10,297,918	8,138	10,306,057	△455,527	9,850,530
セグメント利益 又は損失(△)	256,704	261,557	△23,939	142,073	150,187	786,582	△1,030	785,552	△290,170	495,381

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、全社催事等であります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△290,170千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△302,032千円及びその他調整額11,861千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。